

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 小児・障がい児者在宅家族支援推進事業費

(地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部医療福祉連携推進課障がい児者医療推進係

電話番号：058-272-1111 (内 2627) E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 47,700 千円 (前年度予算額：39,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	39,500	0	0	0	0	0	39,500	0	0
要求額	47,700	0	0	0	0	0	47,700	0	0
決定額	43,780	0	0	0	0	0	43,780	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

在宅で生活する重度障がい児者の家族は、日常的な医療的ケア等の介護に追われ、大きな負担を抱えているため、家族が一時的に介護から解放されるレスパイトサービスの充実のほか、身近な相談支援が切望されている。しかし、その支援の体制は十分ではなく、レスパイトサービスの受け入れを促進するための支援や相談機関の運営等について継続的な支援が必要である。

また、災害時における重度障がい児者の避難支援体制の整備が重要視されており、特に人工呼吸器や、たん吸引が必要な障がい児者にとっては、停電時において、医療機器を使用するための電源の喪失が生命の危機に直結することから、関係機関による災害時の支援体制整備の促進が急務となっている。

(2) 事業内容

□重症心身障がい在宅支援センターみらい運営事業費 (R3:12,000千円→R4:13,500千円)

在宅の医療的ケア児、重症心身障がい児者支援の充実を図るため、家族や支援機関等の様々な相談に応じるとともに、家族交流会や医療デバイスに関する勉強会など、医療的ケア児、重症心身障がい児者の家族に対し総

合的な支援を行う相談機関を運営する。

□短期入所等運営機関ネットワーク会議運営事業費 (R3: 280 千円→R4:280 千円)

短期入所事業を運営していく上での現状や課題について情報共有を図るため、医療依存度の高い重度障がい児者を受け入れる医療機関や福祉施設で構成する連絡協議会を開催する。

□在宅医療的ケア児等短期入所等支援事業費補助金 (R3:24, 200 千円→R4:29, 000 千円)

レスパイトサービスの拡充に向け、医療的ケア児者を短期入所事業又は日中一時支援事業で受け入れた医療機関、福祉施設に対し、受け入れの実績に応じた助成を実施する。

新 □在宅医療的ケア児等訪問看護支援事業費補助金 (R3:0 千円→R4:3, 120 千円)

レスパイトサービスの拡充に向け、医療的ケア児者に長時間訪問看護を行った訪問看護事業者に対し、利用の実績に応じた助成を実施する。

□短期入所等利用促進体制整備事業費補助金 (R3:800 千円→R4:800 千円)

医療的ケアが必要な重度障がい児者を受け入れている短期入所事業所が行う、送迎車両の修繕費用など、短期入所利用者の利便向上に資する取組みに対して助成を実施する。

□要電源重度障がい児者災害時等支援ネットワーク構築事業 (R3:2, 220 千円→R4:1, 000 千円)

人工呼吸器など、日常的に電源を要する医療機器を使用する重度障がい児者の災害等による長期停電への備えとして、関係機関による電源や医療資材の供給等に関する協力・支援体制の整備を促進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

地域医療介護総合確保基金を活用した県単独事業として実施する。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	345	講師等報償費
旅費	455	講師等費用弁償
需用費	189	会議費、研修資料等消耗品
委託料	13,500	重症心身障がい在宅支援センターみらい運営事業費
補助金	32,920	在宅医療的ケア児等短期入所等支援事業費補助金 29,000 在宅医療的ケア児等訪問看護支援事業費補助金 3,120 短期入所等利用促進体制整備事業費補助金 800
その他	291	会場使用料、通信運搬費
合計	47,700	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

事業評価調書

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

レスパイトサービスの受入れ体制の充実、相談窓口の運営や家族交流会等の開催、人工呼吸器装着者など日常的に電力を要する重度障がい児者を対象とした災害時の協力・支援体制の構築を図ることで、重度障がい児者の家族における介護負担の軽減を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H26)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
重度障がい児者レスパイトサービス利用回数	1,013	15,007	16,000	19,000	/	%
みらい相談件数	0	1,515	1,800	2,100	/	%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児者の家族等から 227 件の相談に対応した。 ・短期入所事業、日中一時支援事業を行う 16 事業所に対して補助金を交付し、重度障がい児者の短期入所、日中一時支援事業の月平均利用回数が 223 回に達した。 ・災害時等支援ネットワーク会議の開催により、関係機関の災害時支援体制等について検討を行った。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>医療的ケアの必要な重度障がい児者の家族から最もニーズの高いレスパイトサービスの量的拡大や、医療的ケア児等の家族や支援者等の相談支援は継続して行う必要がある。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	<p>障がい児者の家族等から 227 件の相談に対応したほか、家族交流会に 40 人の参加があるなど、家族の不安解消や、家族や関係機関のネットワークの構築が図られた。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>国の財政支援制度を活用し、県の財政負担を抑制しながら、充実した内容の事業を行うこととしている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを要する重度障がい児者が利用できるレスパイトサービスの更なる利用拡大。 ・災害時における重度障がい児者に対する支援体制構築の促進。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアの必要な重度障がい児者が利用できるレスパイトサービス事業所の量的拡大につながる継続的な支援。 ・重症心身障がい在宅支援センターみらい（サテライト拠点の展開）の運営により、より地域に密着した医療的ケア児、重症心身障がい児者の支援の更なる強化を図る。 ・人工呼吸器装着者など日常的に電源を必要とする重度障がい児者を対象とした災害時の協力・支援体制の充実に向けた検討。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	

